

日給連

夏季研修会7月21～22日東京で

テーマは「顧客満足・経営戦略」岡村会長に研修ポイントを聞く

業務用食品卸の日本給食品連合会(日給連、岡村純会長)は経営トップを対象とした「夏季研修会」を7月21、22の両日、東京・新宿の京王プラザホテルで開催する。講演会では会員企業が最も関心を寄せる「顧客満足」と「経営戦略」を総合テーマとし、講師となる経営者が実践の中で得たノウハウを交えるとともにコンサルタントから見た分析や評価、また大学教授からみたグローバルな視点で経営のあり方などを語る。参加者は会員企業を中心に約200社を予定。岡村純会長から研修会の内容のポイントなどを聞いた。

「夏季研修会の話の」だけでなく日本中の前に3月11日に発生したを悲しみや不安に陥れ、東日本大震災、それ以降我々食品業界もさまざまな問題に直面した。直後を受けた方々、また当協会卸会員企業、メーカー、すべての関係者の方々にこの場を借りて改めてお悔み申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を祈願申し上げたい。100年に一度と言われる大震災が東日本



岡村純会長

ただでなく日本中の人が、学びの場である夏季研修会。今年は別な意味も含まれているのである。「5月に開催した定時総会の時もそうだったが、被災した卸会員、メーカー会員を精神的な部分でも支援したいという気持ちがある。研修会は学びの場であるが、気持ちを共有し、次の一歩を踏み出す意味もある。と私個人は考えている。今年は次の一歩を共に踏み出したい、との想いで参加する会員が多いのではないだろうか」

「初日である7月21日の一回目の講演は『お客様に必要とされる会社を演じる』というテーマで、松浦信男協業代表取締役社長に顧客価値の実践を通じて経営革新を進めてきた軌跡についてお話しいただく。同日2回目の講演は『新たなお客様価値を創造する経営手法とリーダーシップのあり方』をテーマに、鬼澤慎人ヤマオコーポレーション代表取締役が実践的なマーケティング戦略の策定・推進・展開の必要なポイントについて見聞を聞いた。そうして得たさまざまな要望を夏季研修会のテーマに反映している。業務用卸組織として、今年3月までが持ち上がっていたが、日給連では昨年10月からシルバー市場向け商品の取り扱いを開始し、今年3月まで

新たな価値創る経営手法 学び共有し一歩踏み出す

「数年前から話したが、日給連では昨年10月からシルバー市場向け商品の取り扱いを開始し、今年3月まで

夏季研修会スケジュール

■7月21日13時～15時▷テーマ/「お客様に必要とされる会社を目指して」▷講師/松浦信男協業代表取締役社長、同日15時15分～17時15分▷テーマ/「新たなお客様の価値を創造する経営手法とリーダーシップのあり方」▷講師/鬼澤慎人ヤマオコーポレーション代表取締役
■7月22日9時～11時40分▷テーマ/「日本型イノベーションのすすめ」▷講師/小笠原泰明治大学国際日本学部教授



昨年の夏季研修会風景

業に至るまで実に幅広い企業の経営コンサルタンの立場にある。昨年は卸会員がもっとも関心を寄せる『顧客満足』と『経営戦略』をテーマに講演いただき、とても参考になったとの感想を聞くことができた。そうしたこともあり今年には日本生産性本部に企画をお願いし、昨年の『顧客満足』と『経営戦略』のパート2として3人の講師に講演いただく。

具体的には、

「初日である7月21日の一回目の講演は『お客様に必要とされる会社を演じる』というテーマで、松浦信男協業代表取締役社長に顧客価値の実践を通じて経営革新を進めてきた軌跡についてお話しいただく。同日2回目の講演は『新たなお客様価値を創造する経営手法とリーダーシップのあり方』をテーマに、鬼澤慎人ヤマオコーポレーション代表取締役が実践的なマーケティング戦略の策定・推進・展開の必要なポイントについて見聞を聞いた。そうして得たさまざまな要望を夏季研修会のテーマに反映している。業務用卸組織として、今年3月までが持ち上がっていたが、日給連では昨年10月からシルバー市場向け商品の取り扱いを開始し、今年3月まで